

## 課題発見ゼミナール 佐藤裕クラス希望者：9名

言語における文化的、教育的問題を挙げ、その解決法を考える、ということは、グローバル化が進んでくると、今後必要になってくる可能性が高いと思うから。また、テーマ例としてあげられている、日本における英語教育は正しい方法か?、英語の早期教育は是か非か?、日本以外の国ではどのように英語教育を?なども、グローバル化が進み、今より外国人と接することが多くなると、英語もより必要になってくるし、そういった問題についても考えておくべきだと思う。

このクラスでは、心理学やそれを用いた**実践実践**形式の体験から心の働きについて学ぶことができます。そして私がこのコースを志望する理由は心理学が他の学問と比べて将来的に学んでおいて最も損をしにくい学問であると推察されるからです。

近年、AIが発達しており近い将来さまざまな人間の職業に取って代わることが予想されます。しかしそうであっても、心理学を用いる職業、例を挙げるとカウンセラーのような人の心の働きに関わる仕事ができるのはやはり人間であると考えられます。

純粹に興味があるというのがありますが、上記のような理由から私はこのコースを志望します。

私は、将来英語教諭になりたいと考えている。このガイダンスの中で、身に付けるべき能力のひとつに「**多面的な見方ができるようになること**」と書いてある。英語教諭になるということは、将来英語と日本語の二か国の言語の習得はもちろん、英語圏の人たちの文化など私たち日本人が知らない文化的背景までを知っておく必要がある。日常で「当たり前」だと思っていることが、外国に行くと実は違っていることがあるかもしれない。そのため、異文化の人と意思疎通を図ることは簡単ではない。今回方言を取り上げていたが、国内にしても県を跨ぐとちょっとした言語の違いがある。言語が異なると、人によって捉え方の違いや、コミュニケーションの文化的差異でトラブルの原因にもなる。

また、身に付けるべき能力のもう一つに論理的思考の大切さと書いてある。相反する考えの人と対話し意見を聞くことで、より自分の中の常識が人とは違うことを認識でき、合意形成できる。

言語の壁があることは、日本と外国に限らず、国内同士にも存在する。そのため、日本語や方言に関する文化的問題を考えることは、日本と外国との文化的問題を考えることと

**コメント [s1]:** 心理学に関する職に就いたときに心理学以外の分野の知識や方法論が身についていると貴重な武器となりますので、心理学を専門に学ぶのであれば、逆にこのような機会に心理学以外の分野のことを勉強することをお勧めします。コースの選択とこの課題発見ゼミの選択は独立していますので。

同じである。佐藤先生の授業の目的とする、多面的な見方や論理的思考力は私が将来身に付けておくべき能力であるため、佐藤裕先生の授業を希望する。

私は、英語の先生を目指しているから、日本の英語教育を考えることは必要だと思うから。また、合同授業でいろんな先生の話が聞けたり、発表やプレゼンの機会が多くあったり、資料を通して新たな考えを取り入れたり、考えを深めたりすることは、社会で必ず必要とされる多面的見方や論理的思考を身に付けることにつながるから。

高校在学時から英語教育に興味があるのでこのクラスを希望する。現在の日本の英語教育で、グローバル化していく社会に対応できる十分な英語力がつけることができるのか、疑問に思っている。今の状況は、コミュニケーション重視の授業が増加しているのにもかかわらず、実際にそれが役立っているとは言えない。他国の英語教育と日本の英語教育を比較・検討し、日本に合った英語教育について考えたい。

この課題発見ゼミナールでは、言語に関連する文化的・教育的問題についての文献を読み、複数の視点から物事を考えることで、基礎的な知識や柔軟な発想力を身に付ける。その解決方法を根拠を示しつつ、対話を元に考えていく。自分の意見を主張するだけでなく、反対意見も聞き、合意形成をする。これは、これから論文やレポートを書く上で必要な能力であり、社会に出て、これからの日本を担う際にも求められる、なくてはならないものである。この能力は、将来のために私に必要であるが、まだまだ身につけていないのが現状である。この「言語とコミュニケーション」のゼミなら、この能力を十分に身につけることができ、今後、様々な場面で自分の役に立つはずだ。また、私は将来、日本語教育に携わりたいと考えているので、このゼミのテーマは、私が学びたいことと一致している。このゼミを通して、必要な知識や技能を学びたい。これらの理由から、私は、この課題発見ゼミナールを希望する。

私は将来留学をしたいと考えているので、言葉によるコミュニケーションの文化的差異を事前に調べておいて留学の心構えをしたい。また、異文化理解を深めることができる日

本人を増やして日本をもっとグローバル化して外国人とのかかわりを深め、そうすることで偏見やヘイトスピーチを減らしていきたいと考えているから。

言語とコミュニケーション、発達、教育の講義だが、私が選んだ理由は自分が特にそれらの分野に興味があるからです。違う言語を話す人達とどういった方法でお互いの意思疎通をするのか、そして、教育に関しては、自分が将来進みたい分野でもあるからです。

また、大学の社会的・公共的機能のひとつとして、これからのグローバル化の時代に向けて、異文化の共存を推進していくために、様々な教養を教えることにあると思う。そこで、様々な国の言語やコミュニケーションの手法を教え、考えることは、これからの未来に関して、すごく意義のあることだ。よって、私が講義に求めることは、自分だけで考えるのではなく、色んな人達と意見を交流し、実際にリアリティを持ってこの問題に向き合うような講義を作っていくことだ。また、私は山口先生の言語と文化や熊坂先生の言語と動物にも興味がある。この後期の課題発見ゼミを通して、これからの時代を担う若者の1人として、真剣に様々な問題と向きあえるようにする。

私は英語、日本語教育に興味がある。そのため言語に関するものを取りたいと思った。言語に関するゼミは他にもあるが、特にこの講座は文化についても取り上げることなので、言語を通して他国や日本の文化の差を学んでみたい。また、資料にもあったが、多面的に物事を見る力は、グローバル化が進む中で他国の文化を自国のものさしではからず、異文化として認める際に大切な力である。そのような力もぜひ身につけたい。